第 27 回香川県ジュニアバドミントン選手権大会ルール

１　主　　催　　香川県バドミントン協会
２　主　　管　　香川県バドミントン協会中体連専門部
３　協　　賛　　ヨネックス
４　日　　時　　令和 9 年 1 月 23 日（土）シングルス　開場 8：00（競技開始 8：30）
　　令和 9 年 1 月 24 日（日）ダブルス　　開場 8：00（競技開始 8：30）

５　競技・審判上の注意

(1) 現行（公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程に基づき試合を行います。

(2) マッチ（試合）の進行状況にあわせて、試合番号、選手名、使用コートをコールしますので、放送にはご注意ください。

(3) 各コートエンドラインの後ろにコーチング席を 2 席設置します。監督、コーチはマッチにふさわしい服装で臨んでください。

(4) 公式練習は開場後、開会式前に 5 分間ずつで行います。

(5) マッチ中のけがや病気に対しては、主審が判断します。出血がある場合は止血を認めます。痙攣等はプレーを続けるか棄権するかを判断してください。主審は必要に応じて競技役員を呼んで判断します。

(6) シャトルの交換については主審が判断しますので、主審の指示に従ってください。

(7) マッチ中の水分補給、汗ふき、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。

○ドリンク容器は倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用し、各自で持参したバッグに入れて使用する。

○氷嚢は、保冷バッグ等に入れ、保管する。

(8) 競技規則第 16 条 6 項の規定により、以下のような行為は警告、フォルト又は失格となりますので注意してください。

○プレーを故意に遅らせたり、中断したりすること。

○故意にシャトルに手を加えて破損したりすること。

○見苦しい服装でのプレー、審判員や観客に対する横柄な態度など下品で無礼な態度。

(9)　審判の判定に抗議や異議を唱えることは一切認めません。判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に質問をすることができます。このとき質問できるのは選手に限ります。ただし、明らかなミスジャッジ等がある場合には、教育的配慮として監督・コーチがレフェリーコールを行い、その後質問することを認めます。

(10) マッチ中、インプレーでないときのアドバイスはコーチング席から行います。インターバル時のみコートサイドへ近づくことができます。ただし、本大会においては、得点制限を設け、インターバルを制限する場合があります。監督・コーチが他のコートに移動する際は、インプレーでないときにしてください。

(11) 競技フロア内での携帯電話等の使用は一切認めません。携帯電話等は、電源を切るかマナーモードにしてください。アドバイスやコーチングへの使用も一切認めません。

(12) マッチ中の服装は、学校の体操服または（公財）日本バドミントン協会審査合格品とします。ユニフォームのときは，チーム名・氏名の入ったゼッケンを四隅どめでつけます。

(13) 主審は敗者審判とします。次の試合のスコアシートを本部から受け取り、速やかに試合を始めてください。線審は原則各チームで用意してください。

(14) 各自で録画した映像等を無断で SNS 等にアップすることはご遠慮ください。